

ニ宅一朗 （終り） ナチンズ文學翻譯家。明治四十一年東京生れ（一九一〇  
一）。筆名花町右門。

譯書、タルノレ・ド・シエツセ作「マガミア」池一篇（花町右門名、

昭和二十四年一月一日（新書房）、モオパッサン作「大法夫人の従妹  
たち」（昭和）二十七年六月、二十日十字屋書店）等。